グループホームもやい志和 重要事項説明書

当事業所は、利用者に対して、認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護サービスを提供します。事業所の概要や提供するサービス内容、契約上ご注意いただきたいことを次の通り説明します。

1 認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護サービスの目的

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境のもとで、食事、入浴、排泄等の日常生活の世話及び日常生活の中での心身の機能訓練を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことができるよう支援いたします。

2 事業者

(1) 法人名	有限会社 ドリーム・アンド・ライフ
(2) 法人所在地	東広島市志和町冠584番地
(3) 電話番号	082-433-3899
(4) 取締役	久保田 勝彦
(5) 設立年月日	平成16年11月12日

3 認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護サービスを提供する事業所の概要

(1) 事業所の種類	認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護
(2) 名称	グループホームもやい志和
(3) 所在地	東広島市志和町冠584番地
(4) 開設年月日	平成24年4月1日
(5) 電話番号	082-433-3837
(6) ファックス番号	082-433-3893
(7) 保険事業番号	3492500172
(8) 管理者氏名	寺岡 三枝子
(9) 当事業所の運営方針	

認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護（以下「事業所」という。）の事業は、要支援又は要介護状態になった場合においても、その認知症である利用者（その者の認知症の原因となる疾患が急性の状態にある者を除く。）が可能な限りその共同生活住居において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとします。

(10) 居室・設備などの概要

居室・設備の種類	室数	備考(内寸法)
居室	9室	11.83㎡、12.32㎡
トイレ	4室	1.29㎡～4.49㎡
居間・食堂	1室	110.78㎡
台所	1室	7.98㎡
浴室・脱衣場	各1室	15.52㎡
消防設備	スプリンクラー 感知器 誘導灯 消火器 火災自動通報装置	

4 職員体制

職員の職種	計	常勤		非常勤		保有資格
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1人		1人			介護福祉士
計画作成担当者	1人				1人	介護支援専門員
介護従事者	8人	5人	1人	1人	1人	介護福祉士 ヘルパー2級

5 勤務体制

昼間の体制	(早出 7:00～16:00 日勤 8:30～17:30 遅出 10:00～19:00)
夜間の体制	(夜勤 16:00～10:00)

6 利用定員

利用定員は9名とします。

7 入所の手続き

(1) 以下の書類をお持ちの方はご用意ください。

- ・介護保険被保険者証
- ・介護保険負担割合証
- ・健康保険被保険者証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・身体障害者手帳 (障害のある方)

(2) 要介護者または、要支援者であって且つ、主治医の意見書等で認知症と認められている方が対象です。

8 退居の手続き

(1) 利用者からの退居の申し出（中途解約・契約解除）

以下の場合には即時に契約を解約・解除し、事業所を退居する事ができます。

- ・介護保険給付対象外サービスの利用料金の変更に同意できない場合
- ・事業所もしくは従事者が正当な理由なく契約に定めるサービスを実施しない場合
- ・事業所もしくは従事者が守秘義務に違反した場合
- ・事業所もしくは従事者が故意又は過失により利用者の身体・財物・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為、その他サービスを継続しがたい重大な事情が認められる場合
- ・他の利用者が利用者の身体・財物・信用等を傷つけた場合もしくは傷つける恐れがある場合において、事業所が適切な対応をとらない場合

(2) 事業所からの申し出により退居していただく場合

以下の場合には、事業所からの申し出で退居していただくことがあります。

- ・利用者が、契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行いその結果契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合
- ・利用者が、サービス利用料金の支払いを3ヶ月以上遅延し、料金を支払うように催告したにもかかわらず10日以内に支払われない場合は、文書で通知することで、当事業所におけるサービス提供を即座に終了させていただく場合があります。
- ・利用者が、故意又は重大な過失により事業所又はサービス従事者もしくは他の利用者等の生命・身体・財物・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為を行う事等によって本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合
- ・利用者が病院に入院し、3ヶ月以上経過した場合、又は明らかに3ヶ月以内に退院できる見込みがない場合
- ・伝染性疾患により他の利用者の生活または健康に重大な影響を及ぼすおそれがあると医師が認め、かつ利用者の退居の必要があるとき
- ・利用者が介護老人福祉施設や介護老人保健施設に入所した場合

(3) 自動終了

以下の場合には、双方の通知がなくても、自動的にサービスを終了致します。

- ・介護認定によりご利用者の心身の状況が、自立又は要支援1と判定された場合
- ・事業所が解散・破産した場合又はやむを得ない事由により事業所を閉鎖した場合
- ・事業所の滅失や重大な毀損により、利用者に対するサービスの提供が不可能になった場合
- ・事業所が介護保険の指定を取り消された場合又は指定を辞退した場合
- ・利用者が亡くなられた場合

9 サービス内容

当事業所は、利用者に認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護計画に沿ってサービスを提供致します。

・健康チェック

血圧の測定や体調のチェックなど、サービスを利用される際に実施することにより、体調

の維持・管理の援助を致します。

- ・食事サービス

食事の提供や食事介助のサービスを行います。

- ・入浴サービス

入浴が困難な方に対し、入浴の介助や見守り支援などをします。

- ・排泄支援サービス

利用者の状況に応じて適切な排泄の介助を行うとともに、排泄の自立についても適切な支援を行います。

- ・生活相談

日常生活などに対する相談を受けると共に、解決のための支援を行います。

- ・機能訓練・日常動作訓練

機能訓練や日常生活動作訓練などを通し、心身の機能の活性化や体調の維持増進を図り、機能維持・改善が図れるように支援致します。

- ・レクリエーション

レクリエーション活動などを通し、楽しみながら身体を動かすことで、心身の活性化を図れるように支援致します。

10 利用料金

基本料金

要介護状態区分	単位		
	1日当たり	月額（30日）	月額（31日）
要支援2	761	22,830	23,591
要介護1	765	22,950	23,715
要介護2	801	24,030	24,831
要介護3	824	24,720	25,544
要介護4	841	25,230	26,071
要介護5	859	25,770	26,629

加算料金

加算項目	単位		
	1日当り	月額（30日）	月額（31日）
初期加算 (入居日から30日以内及び医療機関に1ヶ月以上入院した時、退院して再入居する場合も算定)	30	900	
サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	6	180	186
若年性認知症利用者受入加算	120	3,600	3,720
介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	単位数の合計×178/1000		
退居時相談援助加算 (利用者1人につき1回まで利用可)	400(1回のみ)の料金)		

- ※ 介護職員処遇改善加算は区分支給限度基準額の算定対象外とする
- ※ 地域区分 東広島市 7級地 認知症対応型共同生活介護又は介護予防認知症対応型共同生活介護 単価 10,14円

※ ご利用者様負担額計算式

総単位数×10,14＝A（介護保険サービス総費用）

A×90%（80%、70%）＝B（保険請求額）

A－B＝C（利用者負担額）

※介護保険負担割合証が2割の方は、上記の保険請求額の計算式が80%となり、介護保険利用者負担額は2割となります。

※介護保険負担割合証が3割の方は、上記の保険請求額の計算式が70%となり、介護保険利用者負担額は3割となります。

その他費用

項目	料金
一時金（入居金）	80,000（入居時のみ）
家賃	55,000/月
光熱費（共益費）	21,000/月
管理費	12,000/月
食費（30日の場合）	46,500/月 1日当たり：1550（朝：350、昼：550 夜：550、おやつ：100）

- ・その他日常生活で通常必要となり、利用者が負担することが適当と認められる費用：実費
- ・紙オムツ代 140円/枚、パッド 25円/枚
- ・一時金に関しては90日以内に退去する場合、日割り計算による居住費、食費、サービス利用料及び一定限度の現状回復費用を除き、入居一時金を全額返還致します。
- ・預り金について

利用者ごとに金銭出納帳を作成し、金銭管理を行う。利用者等の依頼に基づき出金を行うものとし、利用者から依頼があった場合は、家族の承諾も得る。

出金に伴う領収書又はレシートを保管し、毎月1回以上定期的に、利用者等に対して、金銭出納帳、領収書等（支払証明書を含む。）により収支状況を報告する。また、利用者等から金銭管理の報告を求められた場合は、速やかに対応する

11 ホーム利用にあたっての留意事項

(1) 面会

面会時間 午前9：00～午後7：30

それ以外についてはご相談下さい。

但し、インフルエンザ等の感染症が蔓延している場合はご遠慮させていただく場合があります。

(2) 外出、外泊

必ず行き先と帰宅時間、食事の有無など必要なことを所定の用紙で職員にお届け下さい。

(3) 喫煙

施設内は禁煙です。喫煙は決められた場所をお願いします。

(4) 居室内の設備

居室には、洗面台が備え付けてあります。ベッド、タンスはありませんので、ご自宅からご用意ください。グループホームでは福祉用具貸与は認められていませんので、ベッドや歩行器等を使用される方は別途ご相談下さい。

(5) 所持品の持ち込み

家具、衣類の持ち込みは、居室内に収まりきる範囲内をお願いします。
季節毎の衣類の入れ替えは代理人等にてお願いします。

(6) 宗教、政治活動

施設内での宗教活動・政治活動はご遠慮下さい。

(7) ペット

ペットの持ち込みはお断りします。

(8) 食べ物の持ち込み

衛生管理上、1回で食べきれぬ量でお願いします。

1 2 料金のお支払いの方法

前記の料金・費用は、1か月ごとに計算し、請求いたします。翌月20日までに以下のいずれかの方法でお支払い下さい。

- (1) 自動口座振替（手数料は事業所の負担となります）
- (2) 銀行振り込み

【銀行振り込みの場合】

指定口座	ひろしま農業協同組合 志和支店 普通預金 7994-405 0005105 有限会社 ドリーム・アンド・ライフ 取締役 久保田 勝彦
------	---

1 3 苦情の受け付けについて

苦情を解決するための体制・手順は以下の通りです。

- (1) 苦情受付担当者は受け付けた苦情について「苦情等受付書」を作成し、苦情解決責任者及び第三者委員に報告します。但し、苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合は除きます。第三者委員は苦情の内容を確認後、「苦情等受付報告書」を作成し、報告を受けた旨を苦情申出人に通知します。
- (2) 苦情解決責任者は苦情の解決にむけて、苦情申出人と誠意をもって話し合います。その際、苦情申出人は、第三者委員の助言や立会いを求めることができます。なお、第三者委員の立会いによる話し合いは、次の通りとします。
 - ・第三者委員による苦情内容の確認
 - ・第三者委員による解決案の調整及び助言
- (3) 苦情申出人に対し改善を約束した事項について、苦情解決責任者は苦情申出人及び第三者委員に対して、「苦情等解決報告書」を作成し、措置の結果等を報告します。

(4) 苦情等の申出の状況及びその解決結果等について、社員総会へ報告するとともに、解決結果について、個人情報に関するものを除き、「事業報告書」に掲載し、公表します。

当事業所に対する苦情やご相談は以下で承ります。

- 苦情担当窓口 グループホーム もやい志和
- 管理者 寺岡 三枝子
- 電話 0 8 2 - 4 3 3 - 3 8 3 7
- F A X 0 8 2 - 4 3 3 - 3 8 9 3
- 受付時間 9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
- 第三者委員 志和地区民生委員 酒井 登
- 電話 0 8 2 - 4 3 3 - 3 3 7 6
- 苦情解決責任者 デイサービスセンターもやい志和
- 取締役 久保田 勝彦
- 電話 0 8 2 - 4 3 3 - 3 8 9 9

○行政機関その他の苦情受付機関

東広島市 介護保険課	所在地	東広島市西条栄町8-29
	電話	082-420-0937
	受付時間	8:30~17:15
国民健康保険団体連合会	所在地	広島市中区東白島町19-49国保会館
	電話	082-554-0783
	受付時間	8:30~17:15

1 4 退居時の援助

契約の終了により利用者が退居する際には、利用者及びその代理人に希望、利用者が退居後に生活されることとなる環境等を勘案し、円滑な退居のために必要な援助を行います。

1 5 秘密保持の厳守

事業所は、自らが作成または取得し保存している利用者等の個人情報について、個人情報の保護に関する法律その他関連法規及び、事業所の諸規則に則り、適正な取り扱いを行います。業務上知り得たご利用者又はそのご家族の秘密は、厳守します。この守秘義務は、雇用契約終了後も同様と致します。サービス担当者会議等、サービスを提供する上で必要な場合は、お客様やご家族の個人情報を用いることがありますので、ご了承ください。事業所で作成、保存している利用者の個人情報、記録については、利用者及び代理人はいつでも閲覧できます。また実費にて複写することもできます。

1 6 身体拘束廃止に向けての取り組み

- (1) サービス提供にあたり、利用者自身や他の利用者の生命または身体を保護するためやむを得ない場合を除き、身体拘束を行いません。
- (2) 緊急やむを得ず、身体拘束を実施する場合は、その事由を利用者及び代理人等に【緊急

やむを得ない身体拘束に関する説明書】をもって説明し、同意を得ます。

- (3) 事業所は、緊急やむを得ず行う身体拘束について、実施状況の記録を整備し、その廃止に向けて対策を検討する委員会を3か月毎に開催するなど、身体拘束廃止の取り組みをします。

1.7 感染症対策

- (1) 事業所は、感染症または食中毒の予防及び蔓延の防止のための指針を整備します。
- (2) 事業所は、感染症または食中毒の予防及び蔓延の防止のための研修を定期的実施します。
- (3) 以上のほか、別に厚生労働大臣が定める感染症または食中毒が疑われる際の対処等に関する手順に沿った対応を行います。

1.8 介護事故発生の防止

- (1) 事業所は、事故が発生した場合の対応、次に規定する報告の方法等が記載された事故発生の防止のための指針を整備します。
- (2) 事業所は、事故が発生した時またはそれに至る危険性がある事態が生じた時に当該事実が報告され、その分析を通じた改善策を従業者に周知徹底する体制を整備します。

1.9 事故発生時及び緊急時の対応

- (1) 事業所は、利用者に対するサービスの提供により事故が発生した場合には、速やかに利用者の家族及び市町村等に連絡を行うとともに、必要な措置を行います。また、緊急時に対応するために、主治医及び緊急連絡先は、予め確認させていただきます。サービス提供中に利用者の容態の急変等があった場合は、当該の連絡先及び、保険者へ連絡します。

<協力医療機関>

三木医院	医師名	三木 乃慈子
	住所	東広島市志和町別府1324
	電話	082-433-2501
	診療科	内科
やまがた歯科医院	医師名	山縣 隆宏
	住所	東広島市志和町七條椀坂1436-14
	電話	082-433-5454
	診療科	歯科

- (2) 事故の状況や事業所が取った処置状況については記録に残します。
- (3) 事業所はサービスの提供にともなって、事業所の責めに帰する事由により事故が発生した場合には、速やかに損害を賠償します。

20 非常災害対策

- (1) 防災の対応：消防計画に基づき、速やかに消火活動に努めるとともに、避難・誘導にあたります。
- (2) 防災設備：火災報知設備、スプリンクラー、避難誘導燈、粉末消火器等、必要整備を設けます。
- (3) 防災訓練：消防法に基づき、消防計画等の防災計画を立て、職員及び利用者が参加する消火通報、避難訓練を年2回以上実施します。
- (4) 併設施設における非常災害対策を一体的に行います。

21 その他

- (1) 通院・入退院時の送迎
緊急時を除き、通院・入退院時の送迎は、代理人のご協力をお願いします。
- (2) 入院時の対応
入院中の対応は、代理人でお願いします。

令和 年 月 日

認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護サービスの提供の開始に際し、本書面に基づき重要事項の説明をしました。

事業所 東広島市志和町冠584番地
グループホームもやい志和

説明者 寺岡 三枝子 ㊟

私は重要事項説明書に基づいてサービス内容及び重要事項の説明を受け、同意しました。

利用者 住 所

氏 名 ㊟

家族代表（続柄： ）

住 所

氏 名 ㊟